

2004年12月19日 午後6時6分 第2子長女 2060g

「そり、上手よー」「んー痛いのねえ」 ーいほ、ねかV イキみた
17から 膣に入ってきた。天の声です。 ーいほ、Xロニーの
よりに... 絶妙のタイミングで...

何度も何度も 自分=... 痛みに... 負けそうになりました。
陣痛にも... イキかV ほしい時にも...
上の子を産む時に、私の弱さのせいで... 最後の最後み
(一人目、病院で出産)

悲愴な お産 だったので。今回は、自分の力で、
納得のいく、中身のつまったお産をしたいと強く思っ
ていました。

10月下旬 初めて 康乃先生とお話をしました。
その時、いろいろお話をしてくいた中で、お産の
頭を打たれる思いがした。言葉があります。

「妊婦は患者じゃありません」
それなんですよ。妊婦・出産は病長じゃありませんよ。
あたりまえのことかV おかV つかV つかV

自分を患者と思いつけ 毎月毎月 病院に足を運び
体重かV ぶたておろし。流石作業の巧みに受ける
会計まで、患者気分だった私。だから、出産も、
味気ないモノになってしまったんです。

自分のお産に対する考え方をしっかり持ち、どんなお産
がしたいのかを。自分の「出産道」というものを持って
いけば、病院だろうが、家自宅だろうが、どこで産ん
でも 中身のつまったお産ができるのかV と思っています。
赤ちゃんを産むのは私なんです。他の誰でもない。

夫でも つかV、医者でも つかV。康乃先生でも つかV つかV
母親の私だけかV お腹の赤ちゃんを産み出してあげ
るんですよ。あの日 康乃先生とお話した日から、私は

少し強くT54T=何かするんです。(うめほしかなんか?)

18日 朝から 15分間隔の1にぶい痛み...

19日 早朝 おしり やと5分間隔の強めの痛み。

T53バ<T53バ< 重かいていふと、洗たく、そうし。

とんとん痛みは強くなる、いきました。でも、おしりのが
ぜんぜんないので、子宮口はぜんぜん開いてないことは、

自分でもわかっています。T53に? このT53にT53に...、

あー負けそう、うーん 康乃先生 助けてーえ

あーと あー、と 待てよ!! 負けるな!! 甘えるな!!

そう言いきかせて、もう少し 耐えてみる。

あーでも =めん、家で耐えるなら、康乃先生のそばで、

耐えていた。 11:00 = "先生 もう行っていいですか?"

とTELをする さん- "いっのよ、いらして" やさしい声で、

丁寧な言葉で、でも、甘えちゃいけないと、おしりを

しめたりおす!!

どうにか=りにか、経産婦としては、時間がかかると、

~~破水まで~~ 破水まで、うきみの 夫と息子と 康乃先生の

あてにかい、手に 守らなければならぬ破水 → うきみの涙が

やってきました。その時 聞=えてきたのか、はじめに

書きましたか、あの夫の声です。

痛みは負けそうになると、1つ<そばにうきみをかかえてはく

て、「先生 どうして... かわかんないよ...」 半ば言いかけても

(あし? 強くないん)

「...のよ、上手よ、自分のうきみは1つ=らん」

あ、おしりかいてた...。産むのは 承知した。

気合いを入れ直して、もう一度 うきみ。 「もう見てらん」

赤いおしりの頭が見えかきしているのか、鏡にうつっていました。

あー少し、あーして。 =で 甘えててどうする!!

「この手を握くには、あたしが 出してやるしか なかった」
と強く思った瞬間。

「いい顔してるわよ!!」 また天の声 <sup>ほんと見てく
てるので。</sup>
最高のタイミングでは!!

あ、この人だから、私は がんばるんだ!!
もう一度 ものすごい 汗の涙が およぼせる。この瞬間
赤ちゃん が だしているサイン なんですわ。 「お母さん、いよいよ
赤ちゃんと一緒に 最後の 呼吸を しよう!!」

「はい、かぬいて」 とても やさしい 声。 あたがが
* やさしい 千代子さんの 手が ぬくもりを 伝えてくれて
ほんとにも 言えない 温かい 感覚を ともに。 赤ちゃん 誕生!!

やりました!! 私 が 産んだんです。 自信をもって 胸を
はたいて います。

ニカカ 出産 して ありがとうございます。
ありがとうございます。 康乃先生、千代子さん。
すばらしい 瞬間を ありがとうございます。

パパと雄飛 最後まで 笑顔で ありがとう。

あ、~~お母さん~~ 分娩室に入る前 助けましてくれて ありがとう。
マエちゃん この すばらしい 瞬間を ありがとう。とは、
あたがが の おかけ だ と思います。 いつまでも 康乃先生を
見守って 下さい。

退院する日まで やさしい 言葉で 手助けして 下さり
感謝 しています。
ありがとう でした。

2004年12月23日 12:00 産科 5-1

渡部